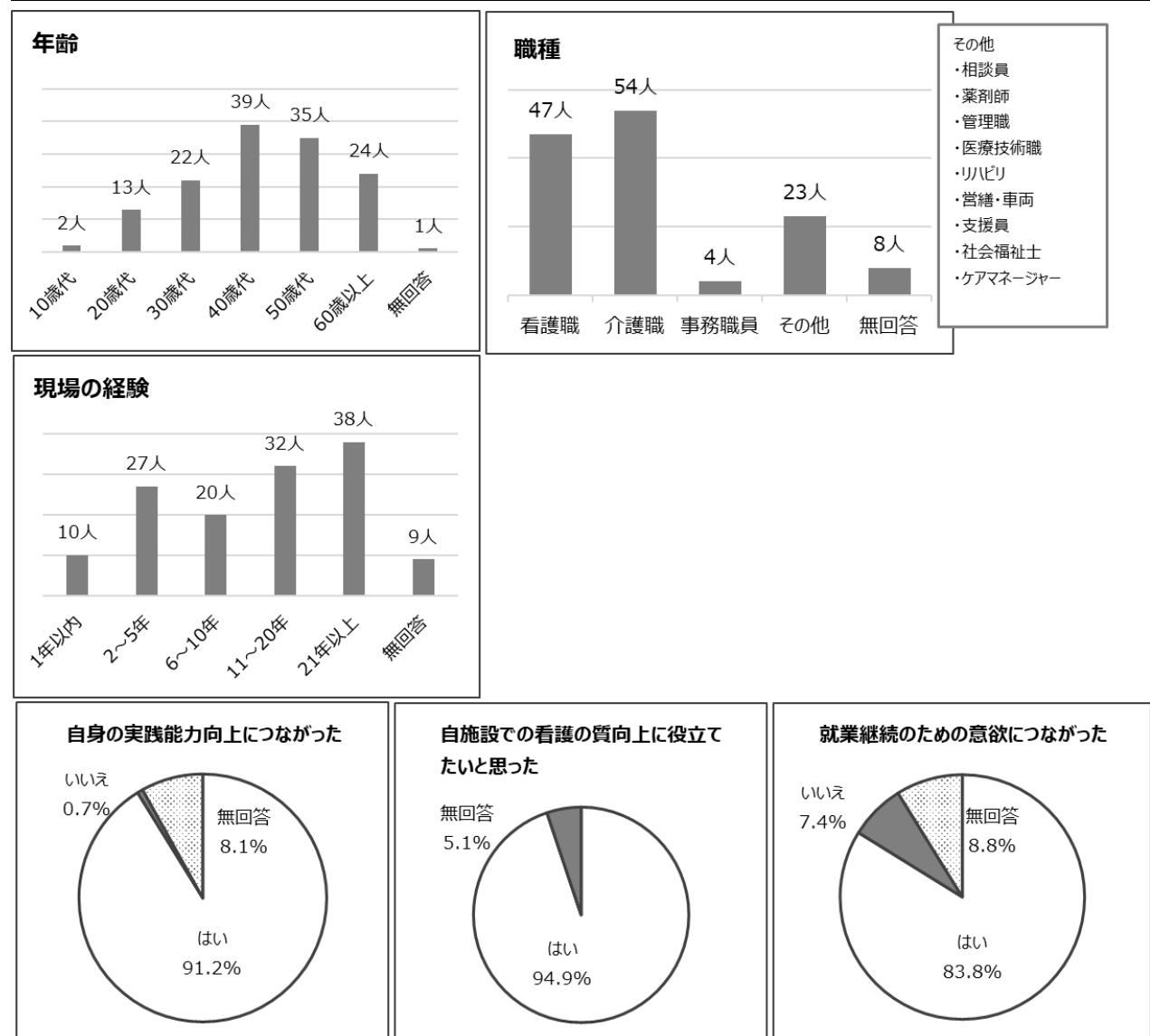


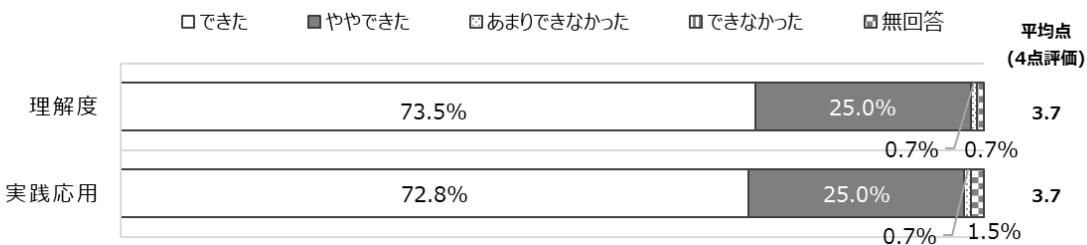
福祉施設への出張研修

目的：施設で研修会を開催することで他職種間の情報共有ができ、統一した看護・介護ケアを提供できる。また同じ研修を共有すれば指導する看護職の負担軽減ができる。業務改善が図られることで離職防止、定着促進につなげる。

開催日	研修内容	受講者数	会場
8/6 (火)	標準予防策	74名	諫早療育センター
9/17 (火)	コロナ対策（インフルエンザ）	15名	介護老人保健施設 シンフォニー稻佐の森Ⅱ
10/3 (木)	看取りケア	11名	介護老人福祉施設 黎明館
11/26 (火)	感染	16名	南長崎クリニック
2/26 (水)	転倒・転落防止	10名	南山手十三番館
3/6 (木)	褥瘡予防	10名	訪問看護ステーション 太陽

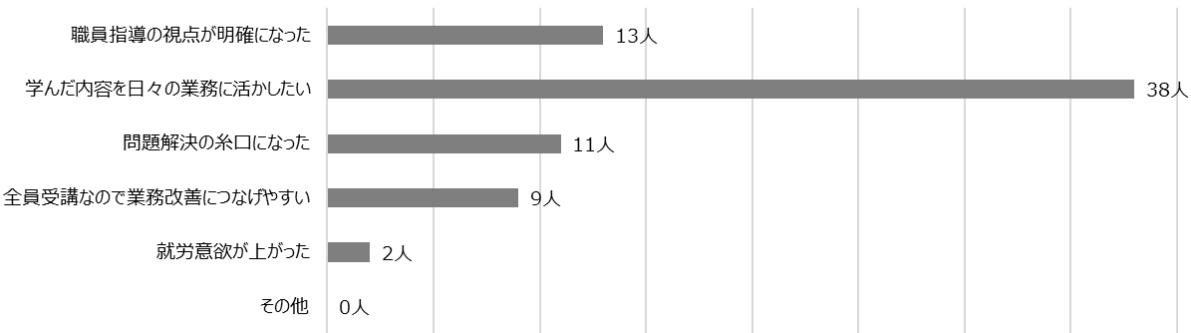


内容について



«看護職の方対象»

受講後、効果があつた点（複数回答可）



《看護職の方対象》

次年度も実施してほしい



受講者数

回答者数

回答率

136人

136人

100.0%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

＜評価＞

研修テーマは各施設の希望で実施した。感染対策が3施設、看取りのケア、医療安全、褥瘡対策と実践に関する内容で、基本的な内容の講義を希望する施設が多かった。看護職からは、研修内容について「学んだ内容を日々の業務に活かしたい」と回答した人が31名（77.5%）で、講義内容は認定看護師など専門領域の講師からの講義で効果があつたと考える。管理者のアンケート結果（13名）では、「質を向上したい」と希望して申込みをしている管理者12名（92.3%）が多かった。他には「自施設で実施するので参加しやすい」10名（76.9%）、「良い講師を選択してもらえる」8名（61.5%）で、次年度も同様の研修体制なら「是非希望したい」11名（84.6%）、「多少費用がかかっても希望したい」2名（15.4%）で、無料の今の体制ならば希望するとの意向の管理者が多い。なお、介護職51名（37.5%）の参加が多かった。申込み時、土曜日希望や遅い時間を持つ施設もあった。

＜課題と今後の取り組み＞

テーマに関しては、依頼しやすいよう項目を挙げ、選択式とする。開催日時に関しては、土曜日を追加し、時間は1時間延長させる。